

## 完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2023年7月21日

事業ID:2022S00864

事業名:広島県廿日市市の「子ども第三の居場所」  
常設ケアモデルにおける子どもへの体験機会の提供(2022)

団体名:社会福祉法人西中国キリスト教社会事業団

代表者名:理事長 藤田 修 印

TEL:0829-38-0011

事業完了日:2023年6月30日

### ■契約時

事業費総額	:	400,000 円
自己負担額	:	0 円
支援金額	:	400,000 円

■箇所は(様式3)収支計算書より自動転記

### ■事業完了時

事業費総額	:	291,162 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	0 円	収支計算書の緑のセルの値
支援金額	:	291,162 円	収支計算書の赤のセルの値
支援金返還見込額	:	108,838 円	(収支計算書の青のセルの値)

## 1.事業内容

支援契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、支援契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。  
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

### ■事業内容1

#### (1)支援契約書記載の事業内容(予定)

1. 社会見学・遠足の実施  
(1)期間:2022年8月11日実施予定  
(2)場所:広島県広島市(上野学園ホール)  
(3)対象者:子ども15名、大人5名  
(4)内容:経済的困難な状況にあり、また、コロナ禍で外出機会が減少している児童に外出を伴う文化的体験活動を提供する。また、移動は公共交通機関を利用し、運賃の支払いや公共交通機関利用時のマナーなども体験・学習する。



#### (2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 社会見学・遠足の実施  
(1)期間:2023年3月27日  
(2)場所:広島県廿日市市(ちゅーピーアスレチック)  
(3)対象者:子ども8名、大人6名  
(4)内容:経済的困難な状況にあり、また、コロナ禍で外出機会が減少している児童に外出を伴う文化的体験活動を提供する。また、移動は公共交通機関を利用し、運賃の支払いや公共交通機関利用時のマナーなども体験・学習する。⇒予定していた8/11は台風のため、劇団四季ミュージカル観劇は中止し、アスレチック施設への体験活動に変更した。

#### (3)成功したこととその要因

室内アスレチックの種類(難易度)が豊富なため、年齢やスポーツの好き嫌いなどに関わらず、活動を楽しむことができた。

#### (4)失敗したこととその要因

大前提として、外出イベントの提供は、実施可能な近隣のイベントに限られていたり、時間帯や対象年齢などの条件が合わなかったりして、設定が難しい。そのような中、代替イベントについては、より同等の物を設定することが難しく、時間がかかった。そのため、公共交通機関の利用が難しい場所で、観劇ではなく、身体を動かす活動に変更となった。

#### (5)事業内容詳細

事前アンケートの結果、全利用児童が参加した。職員(6名)と児童(8名)で通常の開所時間14:00に施設に集合し、簡単な持ち物チェックと出発式を行い、貸切バスに乗ってアスレチック施設に行った。事前予約の時間に入場し、約1時間30分の活動(ボルダリングやトランポリン、滑り台、ターザンロープなど)を楽しんだ。終了時間にアスレチック施設を退場し、入口の看板前で集合写真を撮影した。貸切バスに乗って施設に帰り、以降は通常の活動(夕食～保護者お迎え)に戻った。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2. 保育・体験環境の整備  
 (1)内容: 児童の成長に欠かせない図書などの購入や毎日の運動時間が不足している生活困窮世帯の児童等のために、基礎的な体力をつける備品の購入とスポーツに親しむための器具の購入、学習のサポートをするための用品などの配備を行う。



(2)事業内容の実施(完了)状況

2. 保育・体験環境の整備  
 (1)内容: 児童の成長に欠かせない図書などの購入や毎日の運動時間が不足している生活困窮世帯の児童等のために、基礎的な体力をつける備品の購入とスポーツに親しむための器具の購入、学習のサポートをするための用品などの配備を行った。

(3)成功したこととその要因

図書は、人気や流行の物も購入することで、手に取る児童が多かった。スポーツの備品は、柔らかい素材の各種ボールを購入したことで、近隣の小さな公園でも、児童が加減せずに扱うことができた。

(4)失敗したこととその要因

公園に雑草が生い茂ったり、虫が発生したりすると、外遊びを見送ることとなった。

(5)事業内容詳細

図書は、大きく普遍的な物(ロングランキャラクターの漫画や学習漫画、自由工作など)と、そうでない物(最近のヒット漫画など)の2種類を予算内で購入して、本棚に収納し、好きな時に児童が手に取れるようにした。スポーツ用品は、近隣の小さな公園で使うことを想定し、飛びすぎない柔らかい素材の各種ボールを中心に購入した。他には、運動が苦手な児童も使いやすいリングバトンなどを購入した。大きなスポーツバックを購入し、それらを収納し、外遊びの際に持ち運んで活用している。

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)支援契約書記載の目標

1. 社会見学・遠足の実施  
 2. 保育・体験環境の整備

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	292	文字数チェック	OK
1. 社会見学・遠足の実施 施設や児童の現況に合った外出イベントが見つかったので、実施することができた。当初、予定していた公共交通機関の利用を伴う観劇イベントは、台風のため中止となったが、可能な選択肢の中での代替イベントを行い、保護者や児童からの不満の声は上がらなかった。			
2. 保育・体験環境の整備 学習に必要な本や漫画などは、ほしい物が数多くあるが、予算内で必要な物から順に買い揃えていくことができた。近隣公園での外遊びに必要なスポーツ用品は、概ね買い揃えることができた。 児童の誕生日やクリスマス時には、皆でお祝いをするため、ささやかな室内パーティーを開くことができた。			

### 3.事業実施によって得られた成果

集団で外出イベントに行き、一人ひとりの児童にとって、忘れられない思い出(かけがえのない体験)として、心の中に記憶された。イベント後の児童の日常会話で、集団全員の共同体験となった外出イベント時の思い出話がされていることもあった。経済的に余裕のある世帯の児童の中には、とても楽しかったようで、長期休み時に家族で遊びに行く話になっているというケースもあった。

学習本は、児童の日常的な学習機会の保障や学習支援のために必要なツールとなっている。漫画は、児童の好みや流行に左右されやすいため、児童ごとに読む・読まないが明確に分かれるが、一般世帯と同等のエンタメ情報取得機会を保障するために必要なツールとなっている。本はジャンルを問わず、読みたくても読めなかった児童や読みたい児童には、とても喜ばれた。また、保護者にも喜ばれた。

スポーツ用品は、外遊び時に必ず使用するアイテムとなっている。日々の使用にて、消耗や破損していたボールについても買い替えることができたため、公園のルール内で児童が行いたい全ての希望スポーツに応えることができた。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応策

本については、まだ必要な物があるため、今後も予算内で買い足していく。

スポーツ用品については、消耗や破損した物を中心に、今後も予算内で買い替えていく。

外出イベントについては、2023年度より、一つの部署で、二つの子ども支援事業(別事業)を行うこととなっているため、主に体制面で実施自体が極めて困難となった。対応策として、誕生日やクリスマスの際の室内パーティーを継続して行い、可能な範囲で施設内の高齢者部門との交流活動を模索していく。

### 5.事業成果物

(1)支援契約書記載の成果物名称

完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書



(3)未作成となった要因